

台風でも壊れない金属屋根 25年間で10万棟の実績

マックス建材

今年日本各地が、台風の深刻な被害を受けた。台風は雨だけでなく、強風をもたらすことから、屋根の強風対策が重要視されている。軽量で地震に強く、さらに台風や竜巻による強風でも壊れない金属屋根「マックス瓦」の普及に力を入れているのが、金属屋根メーカーのマックス建材（横浜市港北区）の榎本浩康社長だ。

サビ、音、熱をカット

「当社の金属屋根は、粘土瓦の6分の1程度の軽さ。デザイン性も高く、和風でも洋風でも、どんな住まいにも調和します。日本瓦からの葺き替えには最適の屋根材です」

榎本社長は、軽量で家屋への負担が少ないマックス瓦のメリットをこう説明する。屋根を軽くすることで、地震に強い効果を発揮する。さらに台風や竜巻などの強風にも強い。その理由は、

屋根の留め方にある。1枚ずつスクリュー釘で躯体に留め、さらに専用のビスで固定する。つまり「面」で留めるので、強風で引つ張られて剥がれることがない。

「創業から25年間で、約10万棟の実績があります。施工金額は1棟当たり約100万円と、他の金属屋根と比べて高価格ですが、特長あるオ

ンリーワン商品として安定した人気を頂いています」

金属屋根が抱える欠点も克服している。ガルバリウム鋼板にフッ素樹脂塗装を施すことで、金属ならではの「サビやすさ」をクリア。板厚が業界トップクラスの0・62ミリのため、雨音が響かない。独自の通気構造で断熱性が高く、熱がこもらないのも特徴だ。

営業ツールとして活用

このマックス瓦を幅広くPRしようと、榎本社長は2011年4月、日本建材・住宅設備産業協会が運営する電子カタログポータルサイト「カタラボ」に入会した。

「入会して活用し始めたら、非常に使い勝手がいい。当社の営業マン全員がiPadを持ち、営業ツールとしているいろいろ

利用しています」

アクセス数も順調に増えている。「スタート時は月50くらいでしたが、月平均で200強、ピーク時で300のアクセスがあります。他の広告サイトも使っていますが、チラシと同じで写真が数枚載る程度。「カタラボ」とはヒット数が格段に違います」

同社の営業エリアは東北から関西が中心だが、その地域以外にも問い合わせが来るようになった

た。

「月に4400万件以上のページビューがある『カタラボ』に、我々のような中堅メーカーも参加できるのは大きい。最近リフォーム会社からの問い合わせが急増しています。『カタラボ』でチャンスが大きく広がっている手応えを感じています」

自らiPadを持ち、営業に飛び回る榎本社長。今後も「カタラボ」を活用しながら、独自の価値を持つマックス瓦を全国にPRしていく決意だ。



榎本浩康
マックス建材社長



台風時における耐久性と高水密性が、実験でも実証されている

「カタラボ」入会で月間アクセス300件に